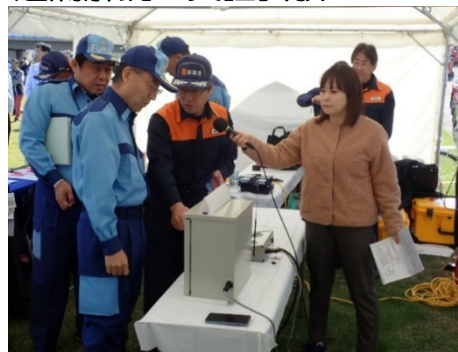


令和元年度福井県総合防災訓練において通信・放送の確保に向けた訓練を実施 ～全国初、FM放送による避難所等の鍵保管箱の遠隔解錠を実施～

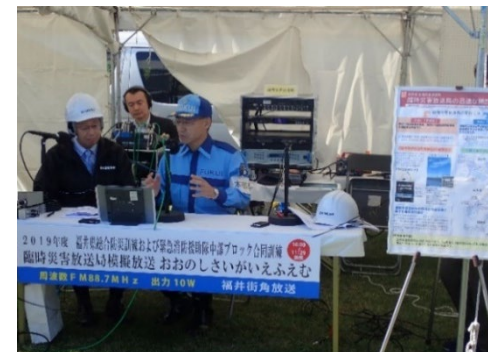
総務省北陸総合通信局（局長：三田 一博）は、令和元年11月2日（土）に福井県大野市で開催された福井県総合防災訓練（主催：福井県、大野市、勝山市）に参加しました。当日は大野市が臨時災害放送局の開局訓練及びこの放送局を利用した遠隔解錠の実証試験を行いました。

◎ 大野市による臨時災害放送局の開局訓練及び鍵保管箱の遠隔解錠の実証試験

今回の訓練では開催地である大野市が県内のコミュニティ放送事業者である福井街角放送株式会社と連携し、実際の災害発生を想定した臨時災害放送局の開局訓練を行いました。また、この放送局を利用してDTMF信号※を放送することで、受信端末である自動起動ラジオに接続された鍵保管箱が自動的に開く実証試験を行い、会場に設置された鍵保管箱の解錠を瞬時に行うことができました。



臨時災害放送局を活用した鍵開け実証試験の様様



杉本知事の臨時災害放送局への出演模様

このシステムは、NPO法人たんなん夢レディオ（福井県鯖江市）、タイヨー電子株式会社（福井県鯖江市）が、自社開発したものであり、災害発生時において避難所等の鍵管理者が不在の場合であっても、速やかに避難所へ避難することが可能となるなどの特長を有しており、今後、多方面への用途拡大が期待されます。

なお、今回のFM放送による避難所等の鍵保管箱の遠隔解錠は全国初の試みとなっています。

※ DTMF信号：プッシュ回線の電話で電話する時に、ボタンを押すごとに発する「ピッポッパッ」という音の信号のこと。（Dual-Tone Multi-Frequency）

◎ 災害対策用移動通信機器の貸出訓練及び展示等

今回の訓練では、当局から地方公共団体へ貸与可能な災害対策用移動通信機器を展示したほか、富士通株式会社及び株式会社富士通ゼネラルの協力により、公共ブロードバンド移動通信システムを用いて、会場内の様々な訓練模様を主会場内に設置したディスプレイに投影するなど、訓練参加者が同システムの有効性を再認識する機会となりました。



杉本知事の正面で公共BBによる訓練模様を配信